



第69期 中間報告書

2018年4月1日～2018年9月30日



CONTENTS

- ごあいさつ
- セグメント別の概況
- トピックス
- 株式の状況
- 会社の概況
- 株主メモ

日本アビオニクス株式会社
証券コード：6946

ごあいさつ



代表取締役執行役員社長

秋津勝彦

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第69期上期（2018年4月1日から2018年9月30日まで）の事業概況等についてご報告申し上げます。

上期事業環境について

当上期の事業環境につきましては、中国を始めとする新興国等の経済の先行き、通商問題の動向、相次ぐ自然災害などの影響があるものの、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に、景気は引き続き緩やかな回復基調で推移しました。

上期の連結業績について

このような事業環境における当社グループの上期連結業績は以下のとおりでございます。

売上高の状況

情報システムは増加したものの電子機器の減少、ならびにプリント配線板の事業終息に伴い、前年同期比11億24百万円減少の77億94百万円（前年同期比12.6%減）となりました。

損益の状況

諸経費削減等に努めたものの、売上高の減少に加え、一部不採算案件により原価悪化したことから、営業損失は前年同期比97百万円悪化の5億97百万円、経常損失は前年同期比98百万円悪化の6億26百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純損失につきましては、前年同期に特別利益として計上した受取補償金14億77百万円が当上期においては計上が無いことから、前年同期比15億7百万円悪化の8億4百万円となりました。

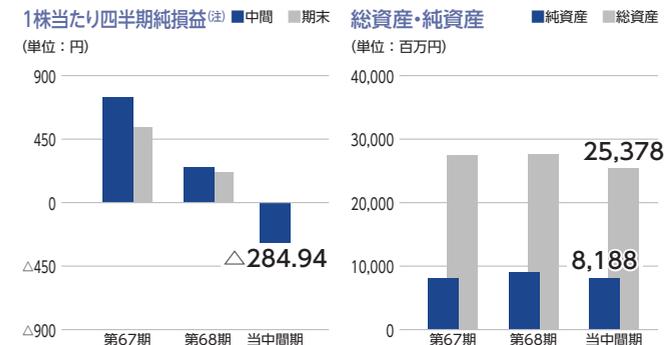
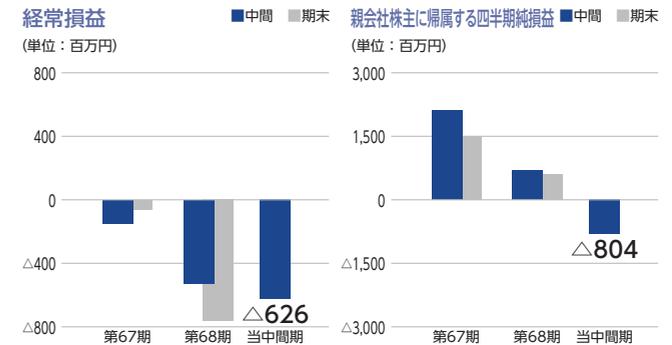
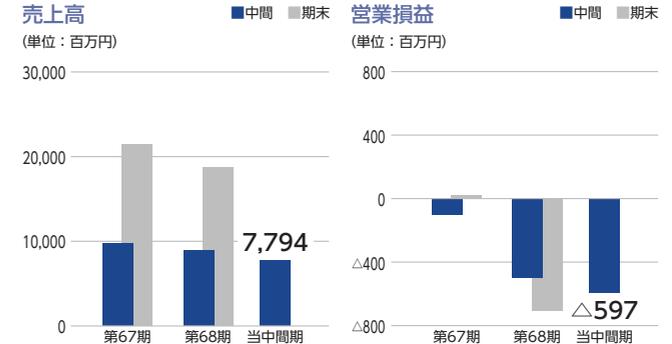
なお、2018年10月1日を効力発生日として山梨アビオニクス株式会社を吸収合併いたしました。

配当につきましては、誠に遺憾ながら普通株式中間配当金、第1種優先株式中間配当金および第2種優先株式中間配当金について無配とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては引き続き変わりなきご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

連結財務ハイライト

売上高	7,794百万円	(前中間期 8,918百万円)
営業損失(△)	△597百万円	(前中間期 △499百万円)
経常損失(△)	△626百万円	(前中間期 △528百万円)
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△804百万円	(前中間期 702百万円)



(注) 2017年10月1日付の株式併合に伴い前々年度期首(第67期)に株式併合が行われたと仮定して算出しています。

セグメント別の概況

■情報システム

売上構成比率 **58.6%**

■売上高 **45億68百万円**
前年同期比 **2.8%増**

■セグメント損失(△) **△4億37百万円**
前年同期比 **32百万円改善**

売上高は期首受注残高が高水準であったことから増加しました。セグメント損失は売上高の増加、諸経費の削減に努めたことから改善しました。



■プリント配線板

売上構成比率 **4.1%**

■売上高 **3億20百万円**
前年同期比 **67.3%減**

■セグメント損失(△) **△75百万円**
前年同期比 **2億6百万円改善**

2018年3月をもって生産停止し、事業終息しております。また、山梨アビオニクス株式会社におきましては敷地の一部を東海旅客鉄道株式会社（JR東海）に譲渡するため、建物の解体、更地化を進めております。

■電子機器

売上構成比率 **37.3%**

■売上高 **29億5百万円**
前年同期比 **16.8%減**

■セグメント損失(△) **△83百万円**
前年同期比 **3億36百万円悪化**

赤外線機器は、海外は価格競争の激化により減少しましたが、国内は鉄鋼・電力向けシステムが堅調に推移したことから売上高が増加しました。

接合機器は、国内は堅調な自動車部品市場を中心に売上高が増加しましたが、海外はスマートフォン市場の減速により設備投資が低迷し、情報機器向けの売上高が大幅に減少しました。

セグメント損益は諸経費の削減に努めたものの、売上高の減少により悪化しました。



トピックス

赤外線サーモグラフィカメラ「InfReC R550シリーズ」の販売を開始

近年、小型・高性能が進む情報機器部品等の確かな「ものづくり」がより一層重要となっています。本製品はポータブル赤外線サーモグラフィカメラとしてクラス最速である120Hzのサンプリング*1を実現し、高価な冷却型ハイスペック機でしか対応できなかった「デバイス過負荷試験における温度評価・解析」や「レーザ溶接時における対象物のスパッタ*2の挙動や熱影響解析」を可能とし、信頼性の高い「ものづくり」に貢献します。

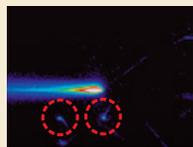
- *1 データの測定・抽出のこと
- *2 溶接時に飛散する粒子のこと

製品の特長

- ◆120Hzの高速サンプリングにより瞬間の温度変化を計測
- ◆最大120万画素の高解像度により欠陥検出率が向上
- ◆I/O機器無しで試験装置や現場設備と連動したシステム構成（データ収録）が可能



InfReC R550シリーズ



120Hzサンプリングでスパッタ（赤点線枠内）を確認

IoTに対応した超音波ウェルダ「SW-D900S-39」の販売を開始

本製品は自動車内装部品や情報機器部品の超音波樹脂溶着において業界初*となる外部センサによる発振制御と外部センサのモニタリングを可能としたことで、より高度な自動化対応と確かなものづくりを可能といたしました。また、LANに対応し、イーサネットを標準装備したことで生産履歴を一元管理することができ、接合品質の向上に大きく貢献します。

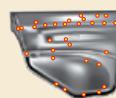
* 2018年3月当社調べ

製品の特長

- ◆生産タクトを短縮する業界最速の溶着速度を実現
- ◆豊富なモニタリングによる接合合否判定が可能で溶着品質の維持・向上をサポート
- ◆小型遠隔操作式コントローラと縦長筐体を採用した自動機組込み型機器で省スペースに貢献



超音波発振器 SW-D900S-39



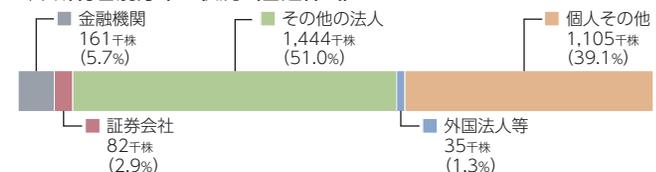
自動車のドアトリムを高速かつ均質的に溶着します。（写真はイメージです）

株式の状況 (2018年9月30日現在)

	普通株式	第1種優先株式	第2種優先株式
(1) 発行可能株式総数 8,000千株	7,600千株	4,000千株	1,500千株
(2) 発行済株式総数 5,130千株	2,830千株	800千株	1,500千株
(3) 株主数	3,476名	1名	1名

(注) 第1種優先株式および第2種優先株式は、日本電気株式会社が全株所有しております。

(4) 所有者別分布の状況（普通株式）



会社の概況

会社の概況 (2018年9月30日現在)

- 商号 日本アビオニクス株式会社
- 英文商号 Nippon Avionics Co., Ltd.
- 設立 1960年4月8日
- 資本金 58億95百万円
- 従業員数 815名(連結) 715名(単独)
- 証券コード 6946
- 拠点および事業所
本社、横浜事業所、新横浜事業所、中部支店、西日本支店、福岡営業所
- 子会社
福島アビオニクス株式会社
山梨アビオニクス株式会社 (2018年10月1日に吸収合併)

役員の状況 (2018年9月30日現在)

取締役

- | | | | |
|-------|-------|--------|-------|
| 代表取締役 | 秋津勝彦 | 執行役員社長 | 秋津勝彦※ |
| 取締役 | 上田勇 | 執行役員常務 | 上田勇※ |
| 取締役 | 竹内正人 | 執行役員常務 | 竹内正人※ |
| 取締役 | 延岡健太郎 | 執行役員 | 新井孝男 |
| 取締役 | 望月愛子 | 執行役員 | 橋本隆 |
| 取締役 | 伊藤茂樹 | 執行役員 | 山後宏幸 |
| 取締役 | 大久保智史 | 執行役員 | 室伏剛 |

執行役員

- | | |
|------|------|
| 執行役員 | 松木徹 |
| 執行役員 | 中谷直人 |

監査役

- | | | | |
|---------|------|------|-----|
| 監査役(常勤) | 鈴木智雄 | 執行役員 | 井田徹 |
| 監査役(常勤) | 篠田亨 | 執行役員 | 吉井徹 |

監査役 千原真衣子 (注)

監査役 大貫篤繁

1. 延岡健太郎、望月愛子の両氏は、社外取締役であります。
2. 伊藤茂樹、大久保智史の両氏は業務執行を行わない取締役であります。
3. ※の執行役員は取締役を兼務しております。
4. 鈴木智雄、篠田亨、千原真衣子の各氏は社外監査役であります。

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月
- 基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
その他必要のあるときはあらかじめ公告します。
- 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
- 事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話紹介先) ☎ 0120-782-031
(インターネットホームページURL) <https://www.smbt.jp/personal/agency/index.html>
- 公告の方法 当社のホームページに掲載します。
<http://www.avio.co.jp/company/ir/index.htm>
ただし、電子広告を行うことができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。

株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

- 証券会社に口座を開設されている株主様
⇒ 口座のある証券会社宛にお願いいたします。
- 証券会社に口座を開設されていない株主様
⇒ 上記電話照会先をお願いいたします。

当社ホームページのご案内

ホームページにて最新のIR情報等をご覧くださいませ。

<http://www.avio.co.jp>

日本アビオ

検索



日本アビオニクス株式会社

〒141-0031 東京都品川区西五反田八丁目1番5号
TEL. 03-5436-0600 <http://www.avio.co.jp>

